

テ、日本ノ各地ノ習慣ニ於テ、北海道ニ往ッテ見マシテモ、長崎ヘ往ッテ見マシテモ、實ハ抵當ニ致シテ居ルノデス、ソレガ公ニ法律デ許サレナイモノデアラカラ、賣買ノヤウナ形ニシテ、書面ヲ行政廳ニ出シテ置イテ、金ヲ拂フナレバ又其賣買ヲ取消スト、斯ウ云フヤウナ窮窟極マル手續ヲシテ居ルノデアリマス、事實ハ習慣上既ニ抵當ニ爲スコトヲ日本ノ制度ノ上ニ於テ實行サレテ居ルノデアリマス、抵當ニ爲スト云フコトニナリマスルト、漁業者ト云フ者ハ、數年不景氣ガ續イタガタメニ、生活上ノ必要ガアリ、或ハ漁具ノ改良其他漁業ノ發達ノタメニ、漁業權ヲ抵當ニ入レテ金ヲ借出スト云フ事柄ハ、今日漁業發達ノタメニ極テ必要ナコトデアリマス、ドナタモ此事柄ニハ御不同意ノ人ハアルマイト思フ、ソレデ今日ノ漁業者ニ金融ノ基本ヲ與ヘテ改良ノ途ヲ得サセヤウトテ、此抵當權ヲ特ニ本案ニ認メテヤッタ次第デアリマス、是ハ日本全國ノ水産聯合會ノ熱心ナル希望ニ基イテ居ル、勿論不動産デアリマセヌ、ソレハ花井君等ノ言フナ俟タナイコトデアアル、ソレ故ニ特別法ニ斯ク規定シタムデアアル、而シテ又實地ニ附イテ困難ヲ生ジハシナイカ、不動産登記法ニ依ルコトハ出來大カラウト云フ、百五十四番等ノ御論方出マシタガ、此第七條二項以下ヲ削除致シタノハ、要スルニ施行法ニ屬スルコトデ、政府ハ法律施行ノタメニハ、勅令ヲ發スルコトモ出來ル、又施行細則ヲ設クルコトガ出來ル、望月君等ハ此法律ハサウ云フヤウナ、施行ニ

關スル法律ナンデ、獨立ッデ此法律ノミヲ以テ、仕上ダヤウトスルカラ、誠ニ困難ナト思フノデゴザイマセウガ、政府ハ此法律施行ノ責ニ任ジテ以テ、適當ノ規則ヲ發スルコトモ出來、又責任アル其範圍ニ於テ出來マスノデ、又命令ニ依ッテモ出來マス、且ツ又二重轉賣ノ如キモノガアッテ、紛雜ノ基ニナリハセヌカト云フ御説デアリマスガ、ソレハ即チ行政官廳ニ其登録ノ手續ヲスルノデアリマスカラ、二重轉賣ナド、云フ事柄ハ容易ニハアリマセヌ、防ギ得ラレル箇條デゴザイマス、政府ガ此抵當ト云フコトヲ非認シタ理由ハ斯ウデアッタ、民法ニ於テ賃貸權ト云フモノハ、不動産上ノ權利デアアルケレドモ、抵當ニスルト云フコトハ許サレナイ、丁度海面ノ漁業權ト云フモノハ、政府ヨリ借ッテ居ル所ノ賃貸權ノ如キモノデアアル、故ニ之ニ抵當權ヲ設定スルト云フコトハ、許サナイト云フ論旨デアッタ、然ルニ地所ナドノ賃貸權ト云フモノハ、賃貸借ノ相互ノ間ニ於テ、其人ヲ信用スルカラノコトデアアル、勿論漁業權ヲ許スト云フ事柄ハ、或ハ西原清東ダトカ、望月長夫君トカ云フ其人ヲ見テ、信用シテヤルノデアアル、即チ相當ノ手續ヲ以テ、國家ニ害ガナケレバ許スト云フノデアリマスカ故ニ、抵當ノ目的ニ許シテ第三者ニ移轉スルト云フ事柄ハ、毫モ差支ナイ事柄デアラカラ、抵當權ヲ認メテヤッテ宜カラウト云フコトデ、委員會ハ多數デ以テ可決ナシタノデアリマス、故ニ諸君ニ於カレマシテハ、是ガ毫モ民法ニアル所ノ抵當ノ原則ニ反スルトカ、不動産

ハナイト或ハ混雜チ生ズルトカ云フ御心配ハ左程アルマイト思ヒマスカラ、此修正案ニ御賛成ヲ願ヒマス、而シテ又平岡君ガ公益上ノ必要ニ依ッテ無償デ取消スト云フコトハ暴虐至極デアルト云フ御論ガアリマシタガ、若シモ左様ナル場合ニ全ク無償デ取消スト云フコトガ度々行レマスレバ、此事ニ附イテハ暴虐ト云フコトニナラヌトモ申シマセヌガ、先ツ此法案ヲ成立セシムルタメニハ、日本ノ二百萬ノ漁業者ガ年々東京ニ出テ、如何ニ苦心チシテ居ルカ、又當局者ガ本案ヲ編成シテ、貴衆兩院ノ協賛ヲ受ケルニ附イテ、如何ニ苦心チシテ居ルカ、既ニ三回モ貴衆兩院ノ間チ否決ニナッテ本年モ亦否決セラル、ナラバ、四回目デアリマス、然ルニ日本ニハ漁業法ト云フモノガアリマセヌ、ソコデ漁民ト云フモノ、財産ト云ヘバ、船カ網カデアリマス、氣ノ毒ナモノデス、ソレニ向ッテ政府ガ行政權ヲ行ハウトスルト、一方ニ反對ガ起ル、其反對ヲ調和スル方法モアリマセヌ、實ニ大切ナ凡ソ二億圓ノ物産チ生ズル、此大切ナル漁業ニ向ッテ、一片ノ法律モナイト云フノハ不完全至極デアル、誠ニ此立法部ガ圓滿ニ調和チ致シテ以テ、此法案ノ成立チ圖ルト云フコトハ、實ニ吾々ノ責任デアルト思フ、大體ソレデアルカラ、吾々ハ思フ通十分ニヤラウトシテモ、或ハ貴族院ノ意見モアリ、或ハ當局者ノ意見モアリマスカラ、相成ルベク調和チシテ、以テ些細ナルコトハ讓合ッテ、而シテ此案ノ成立チ望マナマレバナラヌト云フノデ、左様ナ事柄ニハ政府ノ反對ガア

リマスカラ、政府ノ反對ノアルコトナラバ、追々又改正修正ノ途ガアリマスカラ、今年必シモ全部完全ナラシメナクトモ宜カラウト云フコトデ、實ハ平岡君ノ主張ノ如キ論者モアリマシタケレドモガ、見合セマシテ、成ルベク各方面ニ異論ノチイ所デ以テ、本案ヲ成立セシメヤウト云フコトデ、修正案ノ通ニナッテ居ルノデアリマス、是ヨリ完全ナコトヲ望ミマス、到底何ノ法律モ成就シナイノデアリマスカラ、ドウカ此趣意ニ據リマシテ、此修正案全體ヲ賛成セラレテ、通過致シマスルコトチ、諸君ニ希望致シマスル

○高木正年君(百六十番) チョット西原君ニ質問致シタイ、唯今平岡君ノ説ニ對シテ御辯明ガアリマシタガ、一向要領ヲ得ヌト思ヒマス、詰リ公益上左様ナコトガアレバ、或ハ殘酷デアルカ知レヌガ、政府ガ肯カヌカラ入レヌト云フ御辭デアル、大體今度ノ漁業法トテモ、政府ガ悉ク同意シテ出來タモノデハナイ漸ク多年ノ吾々ノ志ガ達シテ、漸ク今日政府デ納得シタ箇條ガ澤山アル、唯今ノ箇條ノ如キハ最モ漁業法中ニ在ッテ、必要ナル漁業權ノ一方デ、而モ最モ大キナ方ニ損害ガ現ル、コトデアアルニモ拘ラズ、西原君ハ政府ガ同意チセヌカト云フノハ、殆ド意見デハナイト思ヒマスガ、果シテサウ云フ意見デアリマスカ、ドウカト云フコトチ御尋シタイ

○西原清東君(二十九番) 其通

○花井卓藏君(百七十九番) 極短カウゴザリマスガ一言致シタイ、私モ此法案ノ成立ヲ熱心ニ希望スル一人デアアル、併ナガラ此七條ノ漁業權ノ抵當ト云フコトヲ認メヌ方ガ、却テ宜カラウト云フ考ヲ持ッテ居リマス、其理由ハ最早述ベマセヌ、唯茲ニ七條中ニ斯ウ云フ文字ガ削ラレテアル「漁業權ハ相續讓渡共有及貸付ノ」ト云フ下ノ文字「目的ト爲ルノ外私權ノ目的ト爲ルコトヲ得ス」是ガ削ラレテアリマス、是ハ西原君等ノ御意見ヲ貫徹スルタメニ一言致シマス、元來此漁業權ト申シマスモノガ、公權デアアルカ私權デアアルカ、其邊ノ穿鑿ヲ今日スル必要ハゴザイマセヌガ、漁業權ト云フモノニ重キヲ措カシムル趣意ヲ以テ、之ヲ相續セシメ、讓渡セシメ、若クハ共有セシメ、貸付セシムルト云フ、其目的ト云フ目的ヲ達セシムル方法ヲ取ルガタメニ、殊更此條文ト云フモノヲ設ケテ、私權デアアルト云フ事柄ガ定メラレテアル、私權デアアル、民法上ノ權利デアアル、サウ云フ事柄ガ、此法案ニ於テ定メラレテアル、此私權ト云フ文字ヲ削ッテ、私權ノ目的ト爲ルヲ得ズト云フ文字ヲ削ッテシマヒマスルト、此漁業法中ニ書イテゴザリマスル相續トハ、如何ナル意味ノ相續デアアルカ、如何ナル意味合讓渡カ、一切合切民法ノ適用ナスルコトガ出來ヌ、而シテ七條中ニ爭ガアツタ場合ニ、之ヲ以テ私權トセヌトキハ、何レノ裁判所ニ於テ裁決ナスルカ、民法ノ裁判所ニ持ッテ往キマシタラバ、拒ンデ容レヌデゴザイマセウ、而シテ行政裁判所ニ持ッテ往ッテ見テモ出來ヌト云

フコトニナル、故ニ此點ハ餘程熟考ヲ要スベキ點ト考ヘル、如何ニ權利ヲ與ヘテモ、紙ニ書イタダケデ、救濟ノ方法ノナイ權利デアアルナラバ、與ヘテモ何ノ效用モ爲サズ、私モ漁村ノ一民デ、此條文ノ復活ガ出來レバ全部賛成スル譯デアリマスガ、吾々ノ郷國ニ於ケル漁民ノ權利ヲ大切ニ思フガ故ニ、私ハ此一點ハ望月君ノ說ニ加ヘテ、政府案ノ復活ヲ望ミマス、尤モ今日ハ未成年者飲酒禁止法案モ出マスカラ、是ガ通過ナスレバ、勿論此位ノ疵ノ法律モ通過シテ宜シウゴザリマスルガ、少シク重ク見テ戴キタイト云フ趣意ハ、熱心ニ此一言ヲ滿場諸君ニ訴ヘテ置キマス、成否ハドウデモ宜シウゴザイマス

〔採決〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 茲ニ修正説が出マセヌカラ採決ヲ致シマス、第一條ヨリ第六條マデハ、委員會ノ修正説ヨリ外ニ修正ガ出テ居リマセヌカラ、第一條ヨリ第六條マデハ委員長ノ報告通御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ委員長ノ報告通決シマス、第七條ハ望月長夫君カラ原案維持ノ御論が出マシタガ、是ハ原案維持デアリマスカラ先ヅ委員會ノ修正説ニ附イテ採決ヲ致シマス、第七條ハ委員會ノ修正説ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數  
○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス、第八條ハ委員會ノ修正通、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議カナケレバ委員會ノ修正通決シマス、第九條ハ平岡萬次郎君カラ修正説カ出テ居リマスカラ、此修正説ヲ讀上ケマシテ採決致シマス

〔書記朗讀〕

但シ水産動植物ノ蕃殖保護ノ場合ヲ除キ其他公益上必要アリト認メ漁業免許ヲ制限シ若クハ停止シ又ハ之ヲ取削サレタルモノハ行政廳ニ對シ相當ノ賠償ヲ請求スコルトナ得

○議長(片岡健吉君) 平岡萬次郎君ノ修正説ニ同意ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス  
起立者 少數

○議長(片岡健吉君) 少數ト認メマス、本案ニ附イテ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガアリマセヌカヲ本案ノ通決シマス、十條ヨリ終リマデ委員長ノ報告通御異議アリマセヌカ

〔贊成々々〕ノ聲起ル

○議長(片岡健吉君) 御異議ガアリマセヌカヲ、原案通決シマス

○恆松隆慶君(百三十六番) 本案ハ二讀會ニ於テ、多少議論モゴザリマシタ問題デアリマスガ、併ナガラ今日議會切迫ノ場合デアリマスカラ、早ク貴族院ニ回シテ成立テ望マナケレバナリマセヌ、故ニ此場合ニ於テ、直チニ三讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

〔贊成々々〕ノ聲起ル

○議長(片岡健吉君) 今恆松隆慶君カラ、直チニ三讀會ヲ開カウト云フ動議が出マシタ、之ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス、直チニ三讀會ヲ開クコトニ致シマス  
漁業法案 第三讀會

○議長(片岡健吉君) 第二讀會テ決シタル通り、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ確定致シマス、日程第二ノ漁業法案ハ政府ノ同意ヲ得テ茲ニ出シタノデアリマス、是ハ委員長ノ報告通、第二讀會ヲ開カザルコト

ニ御異議ハアリマセヌカ

二 漁業法案(井上角五郎君外十四名提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通決シマス

貴族院(明治三十四年三月十九日 議事日程第三)

○議長(公爵近衛篤磨君) 漁業法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、チヨット諸君ニ御諮リナシマスガ通牒文ハ儀式上必ズ讀ムコトニナッテ居リマスガ其手續ハ省略スルコトニ御異議ガナクバサウ致シマスガ……

〔異議ナシ〕ト呼フ者多シ

○政府委員(藤田四郎君) 漁業法案本日此議題ニ上ボリマシテゴザンスルガ、是ハモウ其必要ハ申スマデモゴザイマセヌ、既ニ兩回程當貴族院ニ於キマシテ通過サレマシタ所ノ案デゴザイマス、今回ハ衆議院ニ於キマシテ議員ノ方カラ提出案ガゴザイマシタノデ共ニ議セラル、コトノ便宜ヲ圖リマシテ衆議院ノ方ヘ先ニ提出シマシタノデゴザイマス、衆議院ニ於キマシテ幾分ノ修正モゴザイマシタガ、大體ニ於キマシテハ政府ハ同意ヲ致シテ居リマスルノデゴザイマス、尙ホ其中ノ廉クニ附イテハ又委員會ニ

於キマシテ詳細陳述致シマスルデゴザイマスカラ、成ルベク本年ニ於キマシテ此漁業法案ノ通過スルヤウニ御盡力アランコトヲ希望致シマス

○馬屋原彰君 政府委員ニ質問ヲ致シマス、此漁業法案ハ前會期ニ政府ヨリ提出サレマシタ案ト大體ニ於キマシテハ餘リ變リハナイヤウデゴザイマスガ、此度ノ法案ノ第二十六條ニ於キマシテ少シ御尋ヲ致シテ置キタイト考ヘマス、此二十六條ノ行政訴訟ヲ許シテ居ル事柄ノ中デ此第十五條ノ處分ヲ受ケタル者マデモ行政訴訟ヲ許スコトニナッテ居リマスルガ、是ハ前會期ニ提出サレタトキハ普通裁判所ニ起訴スルコトニナッテ居ッタカト考ヘマスルガ、本員等ノ考ヘマスル所デ見ルト性質上矢張前會期ニ提出サレタ方ガ當然デアッテ今回ノ如キ行政訴訟ノ中ニ之ヲ入レルト云フコトハ不都合デアアルマイカト云フ考ヲ持ッテ居リマスガ、是ハドウ云フ御考デアリマスカ、其點ヲ伺ヒタイ

〔政府委員藤田四郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(藤田四郎君) 是ハ昨年ノ案デゴザイマシテハ普通裁判所ヘ參ルヤウニ相成ッテ居リマシテゴザンスルガ、政府ハ此度此行政訴訟裁決ニ附キマシテノ大體ノ調査ヲセラレマシテゴザイマス、法典調査會ニ於キマシテ……其趣意ニ依リマシテハ皆斯ウ云フコトハ行政裁決ニ付スルト云フ方針ニ相成リマシタノデス、固ヨリ第二十六

條ニ據リマシテ行政訴訟ヲ許シマスノハ違法處分ノモノダケト御了解ヲ下サルヤウニ願ヒマス

○馬屋原彰君 モウ一ツ伺ヒタウゴザイマスルガ、唯今ノ御答辯ガ少シ聽取リ兼ネマスデゴザイマスガ、矢張是ハ行政訴訟ニシテ宜シイト云フ政府ノ御趣意デアリマスカ

○政府委員(藤田四郎君) 左様デス、全ク宜シイト云フ考デアリマス

○馬屋原彰君 サウ致シマスルト少シ困ッダコトノヤウニ考ヘマスガ、御承知ノ通行政裁判法デハ損害要償ノ訴ヲ受理セヌト云フコトニ現行法デハナッテ居リマスルガ、是ニモ提起シテ構ハヌト云フ御趣意デアリマスルカ、其點ヲ伺ヒタイ、ソレカラモウ一箇條序ニ御尋致シマスルガ、此衆議院ノ修正ハ先刻御説明デ見レバ同意シテ居ルト云フコトデアリマスルガ、衆議院ノ修正デハ此出訴ノ場合ニ於キマシテ違法ト云フコトハ悉ク削ッテアリマス、此違法ト云フコトヲ削ッテ置イタノハドウ云フ理由デアリマスカ、是ハ御承知ノ如ク違法處分ト云フモノデ初テ行政裁判所デ受理スルノデアリマス、違法處分デナカッタバ持出シタ所ガ裁判ヲ與ヘヌコトニナッテ居ル、是ハ憲法ノ精神並ニ明治三十三年ノ百六號デアリマシタカ悉ク違法處分デナケラネバ出ラレヌコトニナッテ居ル、然ルニ此度ハ此違法ト云フコトヲ削ラレタ以上ハドンナ事柄デモ、即チ行政

權デ認定シタ事柄マデモ皆訴訟ヲ許シテ行クト云フ趣意デアリマスカ、餘程範圍ヲ廣クセラレタヤウニ考ヘラレマスガ、政府ノ之ニ御同意ニナッタノハドウ云フ御考デアリマスカ、其點ヲ伺ヒタイ

○政府委員(藤田四郎君) 第十五條、第二十六條ノ損害ノコトデアリマスガ、此損害ハ無論普通裁判所ヘ行キマスガ、處分ニ就キマシテノ工事ノ中止等ヲ命ジマシタ場合ノ違法處分ヲ申シマシタノデ、此二十六條ノ違法ト云フ字ヲ削リマシタコトデゴザイマスガ、是ハ政府ニ於キマシテハ矢張昨年貴族院ニ於カレテ違法ト云フ字ヲ特ニ入ラレテ其方ガ宜シイト云フ考ヲ以テ、衆議院ニ於キマシテモ委員會デ詳細陳述致シテ於キマシテゴザイマス、本會議デハ強テ申シマセヌデゴザイマシタガ、私ガ前刻申上ゲマシタル通、大體ニ於キマシテハ衆議院ノ修正ニ同意致シテ居ルト申シマシタノデ、其詳細ノ事柄ハ又委員會モゴザンスルカラ其委員會ノ時ニ申上ゲマセウト申ウシタノデゴザイマス、此違法ト云フ字ヲ衆議院デ削リマシタ趣意ハ詰リ昨年一昨年出マシタル他ノ法律ニ違法ト云フ字ヲ載セズニ置イタ場合モアルカラ、茲ニ違法ト云フ字ヲ入レテ其範圍ヲ窮屈ニスルニハ及バヌト云フ議論ノヤウデゴザイマシタ、是ハ固ヨリ憲法ノ規定モゴザンスルシ、又行政裁判ノ法律モゴザンスルコトデゴザイマシテ、違法ト云フ字ノアル方ガ適當ト農商務省デハ信ジテ居リマスカラ左様ニ御承知ヲ願ヒマ

ス

○男爵船越衛君 ちヨット御尋シマス、此七條ハ衆議院デ修正ニナラテ居リマスガ、其修正ニ「共有、貸付及抵當ノ目的ト爲スコトヲ得」抵當ノ目的ト爲スコトヲ得ト云フノハドウ云フ趣意デアリマスカ、抵當ニシテモ宜イト云フ趣意デゴザイマスカ

○政府委員(藤田四郎君) 此「抵當」ト云フコトガ衆議院ノ案デ這入リマシテゴザイマスルガ、政府ノ見マスル所デハ抵當ト云フモノハ此様ナモノニハ許スベキモノデナイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、ソレデ其事モ詳細ニ衆議院デハ陳辯ヲ致シマシテゴザイマス、抵當ハ斯ウ云フ漁業ノ免許ニ依ッテ得マシタ所ノモノニ附キマシテ、即チ是ハ受クベキモノデハナイト云フ考デス、即チ抵當ニスルコトハ許スベキモノデナイト云フ考ヲ持ッテ居ル

○男爵船越衛君 ソコデ此修正ニハ御同意ニナリマシタカ、御同意ニナツタカ

○政府委員(藤田四郎君) ソレハ能ク委員會デ御相談ヲ致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 他ニ御發議ガナクバ委員ノ選定ニ移リマス、議長指名デ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

◎明治三十四年三月二十二日議事日程第五

議長(公爵近衛篤磨君)……

漁業法案政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

〔○村田保君演壇ニ登ル〕

○村田保君 此法案ニ附キマシテ委員長カラ致シテ報告ガアリマス答デゴザイマシタガ、此事ハ本員ガ最初ヨリ關係致シテ居リマスルカラ本員ニ代ッテ報告致セト云フ御依託ガゴザイマシタ、即チ本員ガ委員長ニ代リマシテ是ヨリ報告致シマス、此委員會ハ一昨二十日ニ開キマシテ委員中一人ノ病氣缺席ガアリマスル外ハ殘ラズ出席致シ、且ツ政府委員モ出席ノ上、十分審議ヲ遂ゲマシタ上、斯ノ如ク修正ヲ致シマシタ、一體此法案ハ本員カラ致シマシテ二回程提出ヲ致シ又政府ハ此度デ丁度三回提出ヲ致シテ居リマスル、然ル所ニ一昨年ト昨年ハ本院ハ通過ヲ致シマシタガ、衆議院ニ於キマシテ二回トモ否決致シマシタ、遂ニ今日マデ成立チマデ來テ居リマス、然ル所今回衆議院ニ於キマシテ此漁業法案ノ提出ガゴザイマシテ、且ツ政府カラモ法案ガ出マシテ衆議院カラシテ提出ガアリマシタ故ニ政府ガ今回ハ衆議院ヘ先キハ此漁業法案ヲ出シタト云フコトデアリマス、ソレデ委員會ニ於キマシテ段々審議ヲ致シマシタ上ハ成ルベク衆議院ノ修正ニ我々ハ賛成ヲ致シタイト云フ考デ審査ヲ致シマシタ、尤モ此中ニハ文字上其他ニ於キマシテ少々修正ヲ致シタイヤウナコトガゴザイマスルケレドモ、

先づ環々タルコトハ此儘ニシテ、成ルベク衆議院ノ修正ノ通テ事ニ害ノナイ限ハ成ルベク修正ヲスマイト云フ趣意ヲ以テ審査ヲ遂ゲマシタノデ、ソレデ是ヨリ委員會ニ於キマシテ修正ヲ致シマシタ所ノ各條ニ附イテ辯明ヲ致シタイト存ジマス、ソレデ昨年本院ニ於キマシテ提出致シマシタル所ノ議案ヲバ今回ハ政府ガソレヲ基トシテ、ソレニ多少修正ヲ加ヘテ政府カラ此案ヲ提出致シマシタ、故ニ先づ大體昨年本院ニ於キマシテ提出致シマシタ所ト先づ同ジコトデアル、ソレ故ニ一條カラ二條マデト申シマスモノハ昨年本院ニ於キマシテ提出シマシタ所ト少モ違ヒナイ、四條ト五條ガ今回ハ新ニ政府カラ出マシタ事柄デゴザイマス、是ハ此水面ヲ專用シテ漁業ヲ爲スト云フコトヲ加ヘマシタ、トコロガ衆議院ニ於キマシテ四條五條ノ政府案ニ修正ヲ致シマシタ、其趣意ト申シマスモノハ四條ノ二項ニ「行政官廳ハ漁業ノ種類ヲ規定シテ免許ヲ與フルコトヲ得」トゴザイマスルガ、此文デ見マスルトコレマデノ慣習ト云フモノモ矢張り打破ラント云フヤウナ意味ガ其中ニ在リハシナイカト云フ心配カラ致シマシテ衆議院ニ於キマシテハ從前慣行ノアルモノハ慣行ニ從ッテ貫ヒタイト云フ所ノ趣意ヲ以テ此四條五條ハ修正ニナッテ居リマス、是ハ衆議院ノ修正ガドウモ當然ト存ジマスルカラ此通ニ賛成致シマシタ、ソレカラ又六條モ昨年通デゴザイマスルガ唯二項ニ「免許期間ハ免許ヲ受ケタル者ノ申請ニ因リ」ト云フ字ガ加リマシタ、是ハ格別ノ意味ノ違モ

ゴザイマセヌカラ衆議院ノ修正ヲ採用致シマシタソレカラ此七條、七條ハ政府ノ案デゴザイマスルト二項、三項、四項ト斯ウ云フ風ニ分ケテゴザイマスルガ、是ハ昨年ノ案デゴザイマス「免許ヲ受ケタル漁業者ハ行政廳ノ認可ヲ受クルニ非ザレバコレヲ處分スルコトヲ得ズ」トゴザイマスガ、處分ト云フコトデ廣クアリマシタノチ今度ハ「漁業權ハ相續、讓渡、共有及貸付ノ目的ト爲ルノ外私權ノ目的ト爲ルコトヲ得ス」ソレカラ漁業權ト云フモノハ行政官廳ノ認可ヲ經ナケレバナラヌトカ、或ハ漁業組合ニ於テ事業ノ免許ヲ受ケタルトギハ、ソノ漁業權ヲ處分スルコトハ出來ナイト云フヤウナ區別ヲ付ケテ出シマシタガ、衆議院ニ於キマシテハコノ間ニ「貸付及抵當」ト云フ字ヲ加ヘ「目的ト爲スコトヲ得但シ地先水面専用ノ漁業權ヲ處分スルハ行政官廳ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス」ト斯ウ云フコトニシマシタ、政府案デゴザイマスト斯ウ云フ處分チスルトキハ許可ヲ受ケナケレバナラヌト云フヤウナコトデゴザイマスガ、サウ云フコトデハ實際差支ヘルコトモアルシ手數モ要スルガ、帳簿ニ記載シテ置ケバ差支ナイダラウト云フデ、斯ウ云フ風ニ修正ニナリマシタ、是モ至極宜カラウト云フノデ委員會デハ其通致シマシタガ、何分衆議院ノ修正ニ同意ノ出來ナイノガ一ツゴザイマス、ソレハ「及抵當」ト云フコトヲ入レタ、此抵當ト云フコトヲ入レタノハ何分ニモ同意ガ出來マセヌ、ト申スモノハ抵當ト申スノハドウシテモ不動産ノ抵當



デゴザイマスルカテ抵當ヲ致シマスルニハ、ドウシテモ此登記ヲシナクテハナラヌ、トコロガ不動産デゴザイマセヌカラ登記スル手續ガ出來ナイ、トコロガ抵當ト云フモノハ今日ハ何デモ一ツノ物ヲ抵當ニスルコトガ出來ルモノデゴザイマスカラ、登記ヲシテ置キマセヌト誰ガ權利ヲ先ニシテ宜イカガ分ラヌ、甚ダ實際ニ於テ抵當ト云フモノハ不安ト云フモノニナルダラウ、トコロガ不動産ノ抵當デゴザイマスレバ先ニ抵當ヲ取リマシタ者が登記ヲシテ置キマスレバ其者が第一番ニ其物ヲ取リマシテ、アトノ殘リノ者ヲアトノ者が取ルト云フコトガ出來マスガ、是ハ不動産デゴザイマセヌデ漁業ノ權利バカリデゴザイマスカラ、サウ云フコトヲ致ス譯ニハイキマセヌ、サウカト云フテ随分北海道其他ニ於テ漁業權ヲ抵當、抵當ト云フコトヲ實際ハセッテ居リマセヌケレドモ、ソレハ本當ノ抵當デハナイ、ソレヲ擔保ニシテ金ヲ借リルダケデゴザイマス、ソレハ今日ノ儘ニシテ置キマシテ差支ナイダラウト存ジマスガ、併シ抵當ト云フ文字ハ法律上玆ニ置ク譯ニイキマセヌカラ、ソレ故ニ是ハドウモ何分ニモ賛成ナスルコトガ出來マセヌ、ソレノミナラズ之ヲ置キマシタナラバ他ノ法律上ニ非常ナ影響ヲ及シテ困リマスカラ、是ダケハ已ムヲ得ズ削除ヲシマシタ、ソレカラ八條ハ是ハ昨年ト違ヒマセヌ、昨年ハ自然ニ消滅スルヤウニナッテ居リマシタガ、當年ノ法案デハ「行政官廳ニ於テ其免許ヲ取消スコトヲ得」ト云フコトニシマシタ、ソレダケノ違デゴザイマ

ス、ソレカラ衆議院ニ於テ「但シ行政官廳ノ認可ヲ受ケ休業シタルトキハ此ノ限ニアラズ」ト云フ字ヲ加ヘマシタガ、是モ別ニ行政官廳ノ認可ヲ受ケテ休業シタルモノハ無論ノ話デゴザイマスカラ、是モ委員會ニ於キマシテハ衆議院ノ通ニ致シマシタ、ソレカラ二項ヲ新規ニ今度政府ガ加ヘラレタラデス、是モ別ニタイシタコトハゴザイマセヌカラ意味ニ於テ違ガアリマセヌカラ、是モ此儘ニ致シマシタ、ソレカラ九條、十條、十一條モ昨年ノ通デゴザイマス、十二條ニ至リマシテハ是モ趣意ニ於キマシテ少シモ違ヒガナイノデゴザイマスガ、唯此「損失ハ其ノ請求ニ依リ之ヲ補償スヘシ」ト云フ此請求ト云フ字ガ今度這入リマシタ、昨年ハ請求ガナクテモ拂フヤウナ趣意ニナッテ居リマシタガ、當年ハ「請求ニ依リ」ト云フ字ガ加リマシタダケデ、是モ瑣々タルコトデゴザイマスカラ此通ニ致シマシタ、ソレカラ十三條、十三條モ昨年ノ通デゴザイマスガ、第四號ノ所ニ「水産動植物ニ有害ナル物質ノ遺棄ニ關スル制限又ハ禁止」ト云フ字ガ今度ハ加リマシタ、是モ加リマス方ガ却ッテ完全ニナリマスカラ是モ此通ニ從ヒマシタ、昨年ハ十三條ガゴザイマシテ此漁業ト申スモノガ漁業者デナイ者デモコノ法律ニ及ボスト云フヤフナガアリマシタガ、適用スルコトヲ得ト云フコトガゴザイマシタガ、斯ウ云フ禁止制限ト云フモノハ一般ニ及ブモノデゴザイマスカラ、是ハナクテモ十分フルコトデアルト云フノデ政府ガ削リマシタ、是モ其方ガ宜カラウト存

シマス、ソレカラ第十四條ト第十五條、第十六條、第十七條ナドハ昨年通少モ違ヒマセヌ、唯十七條ノ「命令」ト云フ字ガ昨年ハ「勅令」ト爲ッテ居リマシタ、ソレダケガ違フ、ソレカラ十八條、昨年ハ十八條十九條合ハシタモノデゴザイマス、昨年ノハ漁業組合ト申シマスルモノハ總テ此一ツニ包括シテゴザイマシタノナ當年ハ漁業組合ト云フコト、水産組合ト云フコトヲ區分ナシテ、漁業組合ハ一村トカ一部落トカ小サナモノカラ組立ツモノ、水産組合ト云フ方ハモット大キク致シテ或ハ一縣一郡ニ亘ルモノカラ成立ツヤウニ大キク致シマシテ、漁業組合ハ漁業者ヲ主ト致シマスル漁業者ノミノ組合ト云フコトニ今度致シマシタ、ソレダケノ違デゴザイマス、ソレカラ末項ノ「北海道」云々ト云フコトハ今度新ニ這入リマシタ、昨年モ此意味ハアリマシタガ唯表面書イテ居ラヌノデシタ、十九條カラ二十一條ト云フモノハ昨年ノ政府ノ案ノ二十二條ニゴザイマシタ、然ル所ガ昨年ノ漁業組合ト云フモノハ水産組合カラ何カラ一括シテゴザイマシタカラ、斯ウ云フモノハイラヌト云フノデ、昨年ハ本院ニ於テ削除致シマシタ、當年ハ區分致シテ見マスルト斯ウ云フコトハ必要デゴザイマスカラ更ニ是ダケノモノヲ政府ガ加ヘテ出サレタノデゴザイマス、是モ本院ニ於キマシテハ……委員會ニ於キマシテハ一向異議モナイコトデゴザイマスカラ其通致シマシタ、ソレカラ二十二條デス、是ハ昨年ノ政府案ノ十八條デ、漁業組合ニ包括シテゴザイマシタノナ唯今

報告致シタ通分割致シマシタ結果、此條ヲ新規ニ設ケルコトニナリマシタ、即チ是ガ漁業組合ト水産組合ト別ニナリマスル所カラ、斯ウ云フモノハ水産組合ニスルト云フコトヲ設ケマシタ、ソレカラ二項ハ昨年ノ二十二條ニゴザイマスルコト、少シモ異リマセヌ、ソレカラ二十三條、此二十三條ハ昨年ノ二十四條デハ二十三條ト二十七條ト之ヲ二條ニ區別ナシテ之ヲ設ケマシタ、是ハ利害關係者カラ廣ク訴願ヲ許シマシテ此本條デ處分ヲ受ケタル者ガ不服ナルトキハ訴願ヲ許スヤウニ致シマシタ、昨年ハ廣クシテゴザイマシタガ、本年ハ不服ナルトキ、處分ヲ受ケタ者バカリト云フコトニ致シマシタ、ソレカラ此中ニ「若ハ其ノ更新」ト云フコトガ衆議院デ加リマシタ、是ハ更新ノ場合ヲ入レナケレバ扱ケテ行クダラウト云フ越意デゴザイマス、是モ加ヘタ方が宜カラウト云フコトデ此通ニナリマシタ、ソレカラ「若」カラ「トキ」マデ削除ニナリ居リマスノハ前ヲ削リマシタ結果、是モ削リマシタノデ、ソレカラ二項ニ於キマシテ此「前項ノ處分ニ依リ權利ヲ傷害セラレタリトスルトキハ」ト云フ所デ、此「違法」ト云フコトヲ衆議院デ削除ニナリマシタガ、是モドウモ何分ニモ此違法ト云フコトヲ削除ニ致シマスルト云フト、總テノ處分デモ矢張行政訴訟ヲ起スヤウニ見エマスル、然ル所ドウモ此行政訴訟ト申シマスモノハ違法處分デナケレバ行政訴訟ガ出來ヌコトニ一般ニナッテ居リマスルシ、既ニ憲法上ニモ「行政官廳ノ違法處分ニ由リ權利ヲ傷害セラ

レタリトスルノ訴訟ニシテ」云々ト云フコトニナッテ居リマスカラシテ、此處デ違法ト云フコトヲ削リマスルト、他ノ法律ニモ段々響クコトガゴザイマス、多クノ法律ガ皆違法處分ノ權利ヲ傷害セラル、ト云フコトニナリマスカラ、此「違法」ト云フ字ハ衆議院デハ削除ニナリマシタガ、ソレハドウシテモコチラデ復活ナシテ置カナケレバナラヌ、極ク近頃ノ法律デ昨年ノ土地收用法ニモ此通ノ文字ガ加ッテ居リマスカラ、ソレ故ニ此「違法」ト云フ字ハ委員會ニ於テ復活ヲ致シマシタ、此以下段々衆議院ニ於キマシテ「違法」ト云フ所ガ削除ニナッテ居リマスガ、ソレ等ハ總テ復活ヲ致シマシタカラ左様御承知ヲ願ヒタイ、ソレカラ第二十四條、是モ昨年ノ二十四條ノ二項ト同ジコトデゴザイマス、唯衆議院ニ於キマシテ「若ハ其ノ更新」ト云フ字ガ加リマシタ、是モ叮嚀ニ是ダケノコトガ加リマシタコトデゴザイマスカラ、委員會ニ於テハ是ニハ少シモ異議ハゴザイマセヌ、ソレカラ二十五條ト二十六條、是ハ委員會ニ於テ削除ヲ致シマシタ、是ハ衆議院デハ此儘デ通ッテ參リマシタガ、委員會ニ於キマシテ何分ニモ是ハ此儘ニ置ケマセヌ、ト申シマスル理由ト申スモノハ、既ニ是ハ昨年モ此條ガゴザイマシタ、昨年ハ補償金額ニ對シテ不服アルトキハ六箇月以内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得ルト云フ文デゴザイマシタ、トコロガ當年ハ此通常裁判所ト云フコトヲ止メマシテ、是ハ行政裁判所ヘ持出スヤウナコトニ此度ハ修正ニナッテ參リマシタ、トコロガ總

テ要償ノコト、申シマスルモノハ、河川法ニ致セ砂防法ニ致セ、昨年ノ土地收用法ニ致セ、總テ通常裁判所ニ屬スルコトニナッテ居リマス、ソレデナセ此度他ノ法律ニハ總テ通常裁判所ニナッテ居リマスルモノナバ、政府ニ於テソレヲ行政裁判所ヘヤルヤウニ致シタト云フ主意ヲ尋子テ見マスルト、是ハ法典調査會ニ於キマシテ行政裁判法ト云フモノガ今度改正ニナル、其改正案ノ中ニ斯ウ云フ總テノ行政上カラ出タル要償ト云フモノハ行政裁判所ヘ出訴ヲサセルト云フコトノ定規ニナッテ居ル趣デゴザイマス、然ル所今日ハマダ其法律ガ出ナイ、行政裁判法ト云フ改正案ガ何所ニモ提出ニナラヌ中ニ、其草案ニサウ云フコトガアルカラシテ、是モ同ジク行政裁判所ヘ出スト云フコトハ少シク早計デハナイカ、ソレノミナリマセズ是ハ隨分學者間ニ於テ一問題ノ事デゴザイマス、是ガ本院ニ出マシタナレバ中々是ハ議論ノアルコトダト本員ナドハ豫想シテ居リマス位ナ譯デゴザイマス、サウ云フモノデゴザイマスカラ、ソレヲ豫メ今草案ニ在ルカラトシテ是ニ出スト云フノハ甚ダ不都合ナコトデアル、他ノ法律ニサウ云フコトガアルカト云ヘバ、他ノ法律ニハ悉ク要償ノコトハ通常裁判所ヘ持ッテ行クト云フコトニナッテ居リマス、ソレ故之ヲ削除致シテ置キマシタナラバ、無論此損害要償等ハ是ハ通常裁判所ヘ持ッテ行クト云フコトハ明ニナリマスコト故ニ總テ削除致シマシタ、昨年ノハ成ルベク早ク訴訟ヲサセルタメニ期日ガ六箇月ト云フコトニナ

ツテ居リマシタ、併シ斯ウ云フコトハサウ云フ期日ヲ定メマセヌデモ、銘々チツトモ早ク持ッテ行カウト云フコトハ分リキッテ居ルコトデアリマスカラ、サウ云フ期日ヲ定メテ置キマセヌデモ、此場合ニハ普通裁判所へ持出サセルト云フコトニ致シマシタ、ソレカラ二十七條、是ハ昨年ノ二十三條ノ一項二項ヲ包含シテ設ケタモノデゴザイマス、一項ハ漁場一般ノ争ノ場合ヲ申シマスシ、二項ハ行政裁判所へ出ス場合デゴザイマス、此中「又ハ漁業ノ方法」ト云フコトヲバ衆議院デ加ヘラレマシタ、是モ之ヲ加ヘラレタ方ガ完全ニナルコト、存ジマスカラ、委員會ニ於テモ之ヲ賛成ヲ致シマシタ、其他ノ事ハ瑣々タルロトデゴザイマスカラ無論異議ハゴザイマセヌ、ソレカラ二十八條、是ハ昨年ノ二十六條ト少モ主意ハ異ナリマセヌ、唯此中ニ「免許ノ停止中」ト云フ字ガ加リマシタ、ソレモ加リマスル方ガ當然ト存ジマシテ、委員會ニ於キマシテハ其儘ニ致シマシタ、ソレカラ二項ハ是ハ新ニ「但シ」以下ヲ加ヘタノデ、其「但シ」以下ヲ加ヘマシタト申スモノハ、是ハ漁獲物ヲ既ニ賣渡ストカ無クシタ時ニ代金ヲ追徴サセルト云フ主意ヲ以テ是ダケハ新ニ政府デ加ヘマシテ、是モ其方ガ完全デアラウト存ジマスカラ、是モ委員會ニ於キマシテ賛成ヲ致シマシタ、ソレカラ二十九條ハ新タノ條デゴザイマス、ソレカラ三十條、此第三十條ト云フモノハ、是ハ衆議院ニ於キマシテ新ニ設ケマシタ條テゴザイマス、是ハ一昨年ノ法案ニハ矢張此事ガゴザイマシタ、トコロ

ガ今回ノ法案ニハ此事ガゴザイマセヌ故ニ、衆議院ニ於キマシテ一昨年ノ法案ノ如ク此條ヲ加ヘマシタ譯デゴザイマス、是モ加ヘマスル方ガ宜シカラウト云フノデ、委員會ハ是モ賛成ヲ致シマシタ、ソレカラ三十一條、此三十一條ハ昨年ノ二十七條ト全ク同ジ事デ、ソレカラ三十二條是ハ新規ニ加リマシタ、是ハ昨年本議場ニ於キマシテ大分喧マシイ議論ノゴザイマシタ即チ此法人ニ罰ヲカケルト云フアノ事デ、即チ法人ノ場合ヲ玆ニ定メ置キマシタ譯デ、ソレカラ附則ニナリマシテ此三十三條ニ「明治三十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス」ト云フコトヲ衆議院デ加ヘマシタ、政府案デハ勅令ヲ以テ定ムルト云フ所ヲ衆議院デ斯ク極メマシタコトヲ政府委員ニモ尋ネテ見マスルト衆議院デハ成ルベク早クシテ欲シイト云フ希望デゴザイマシタ、トコロガ政府ニ於キマシテハ此慣行漁業マデモ縛ラレルコトハ中々少クモ一年半ハ掛ルシ、隨分四年モ五年モ掛ルダラウ、ソレ故サウ早クハドウモ是ハ出來ヌト云フコトデ、ソレデ衆議院ニ於キマシテ、ハソレナラバ三十五年ノ七月一日マデニ一年半程モ置イテ、サウシテ施行スルヤウニシタイト云フコトデ、政府ト折合ッタト云フコトデゴザイマス、ソレ故委員會ニ於キマシテモ斯ノ如ク矢張同意ヲ致シマシタ、併シ本員一己ノ考デハモウ少シ早クヤッテ欲シイ、成ルタケ早ク是ハ施行シマセヌデハナルマイ、今日政府ガドウシテモ三年モ五年モ掛ルトキハ言ハレマスケレドモ、ソレナラドウダト云フト、一昨年政

府が法律案ヲ出シマシタノニハ三十三年一月一日ヨリ施行スルト云フコトヲ出シテ居リマスカラ、若シ一昨年アノ案が通りマシタナラバ、昨年ノ一月カラ此漁業法ハ施行サレテ居ル、ソレデゴザイマスカラ、一日モ早ク是ハヤリタイ、トコロガ衆議院デ之ヲ修正ナシテ、政府モ早ク出来ヌト云フコトナラ致方ハアリマセヌガ、本員一己ノ考デハ出来ヌコトハナカラウ、ナゼ出来ヌコトハナカラウト云フノニ、既ニ一昨年ノ法案ニ昨年ノ一月カラ之ヲ施行スルト云フコトヲ政府が出シテ居ル位デゴザイマスカラ、出来ヌコトハナカラウト存ジマスケレドモ、ドウモ政府が出来ヌト言ハバ仕方がゴザイマセヌ、併シ是等ノコトハ後日我々が篤ト考ヘマシタ所デ、修正ノ出来ヌコトハナイト存ジマス、ソレカラ三十三條、是ハ昨年ノ二十九條ト全ク同ジ事デ、ソレカラ三十四條モ昨年ノ三十條ト全ク同ジ事デ、ソレカラ三十五條、是モ昨年ノ三十一條ト同ジ事デ、第二項ニ於キマシテ「其ノ他ニ在リテハ」ト云フ字が加リマシタ、是ハ其免許ヲ出願シナイ者ト雖モ、一年間ハ漁業が出来ルト云フコトヲ、是デ明ニ致シマシタ、是ガ加リマシタ方が明瞭ニナラウト存ジマシテ賛成ヲ致シマシタ、ソレカラ三十六條、是モ昨年ト同ジ事デ、唯水産組合ト云フコトガ此處ニ加リマシタダケデ、昨年ハ漁業組合ト爲ッテ居リマシタノヲ、前ノ修正ノ結果之ヲ水産組合ト致シマシタ、此外ニ修正ヲ致シマシタ所ハゴザイマセヌ、先ヅ大要斯様ナ譯デゴザイマスカラ、此案ハ

随分是マデ長ク掛リマシテ未ダニ成立チマセヌデ、漁業者一同ガ困ッテ居ル譯デゴザイマスカラ、ドウゾ今回ハ速ニ御賛成ヲ願ヒマス

○男爵船越衛君 本案ハ委員諸君ノ御盡力ニ依ッテ御調査ニナリマシテ、唯今村田君カラ段々御報告ガアリマシタガ、唯茲ニ一ツ伺ヒタイノハ、昨年ノ議會デ貴族院ニ於テ修正ヲ加ヘマシタ第二十三條デゴザイマス、一漁場ノ區域又ハ關係漁業者ノ住所ノ所在地カ一道廳府外ノ管轄以外ニ涉ルトキハ主務大臣ニ裁決ヲ申請スルコトヲ得」斯ウ云フコトガ昨年ノ本院ノ修正ニハ載セテアル、此字句ハ今度ノ案ニハ無イヤウデアリマス、大層必要モアルマイカトモ思ヒマスガ、私ハ有ッタ方が宜イト思ヒマス、無イ主意ハ何レ御研究モゴザイマシタラウガ如何デゴザイマス

○村田保君 ソレダケテスカ  
○男爵船越衛君 左様

○村田保君 ソレハ唯今報告ニ及ビマシタ通二十七條ト申シマスモノガ昨年ノ二十三條ノ一項二項ヲ包含シテ設ケタモノト申上ゲマシタ、即チ今度ハ二十七條ノ中ニ廣ク是等ヲ包含シテ、勿論一項二項トモ這入りマシタト云フコトヲ申上ゲマシタ積デゴザイマス、御分リニナリマシタカ

○男爵船越衛君 ソレハ包括シテ居ルノデスカ

○村田保君 ソレハ二十七條ノ「漁場ノ區域其ノ他漁業權ノ範圍ニ付漁業權者ノ間ニ争アルトキハ……」

○男爵船越衛君 アレデ宜イノデスカ

○村田保君 アレデ宜イ積デアリマス

○男爵船越衛君 モウ少シ……トコロデアレデイケマイト思フノダガ「管轄以外ニ涉ルトキハ」ト云フコトガアレデハ分ルマイト思フ

○村田保君 管轄以外デモ總テサウ云フモノハ主務大臣ヘ持ッテ行カナケレバナラヌデスカラ、ソレハモウ無論ニ或ハ一地方ナラ其行政長官ニ持ッテ行クソレカラ他ノ縣ニ涉ルト云フヤウナモノハ、ドウシテモ主務大臣ニ之ヲ持ッテ行カナケレバイケマセヌ

○男爵船越衛君 ソレダケデ……

○村田保君 ソレ分ル積デアリマスガ……

○男爵船越衛君 モウ少シ……管轄以外ニ涉ルト云フコトハ臺灣ナドヲ指シタノデハゴザイマセヌカ、昨年ノ……

○村田保君 臺灣ナド……ドウ云フ風ナコトニ臺灣ナドガゴザイマセウカコチヲ臺灣ト何ソ漁場ノ争ガ……

○男爵船越衛君 管轄以外ニ涉ル……

○村田保君 管轄以外ニ涉ルト云フノハ一縣バカリデナクニ縣ニ涉ル、或ハ青森縣ト北海道ニ涉ルトカ云フノガ管轄以外ニ涉ルノデアリマス

○男爵船越衛君 大概分リマシタ

○議長(公爵近衛篤磨君) 他ニ御發議ガナクバ本案ハ二讀會ニ移スベキヤ否ヤノ決ヲ探リマス、本案ハ二讀會ニ移スベシトシテ御異議ハアリマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○子爵京極高典君 直ニ第二讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス

「賛成」ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクバ直ニ二讀會ニ移リマス

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 第一條ヨリ第六條マデ……御異議ガナクバ原案ニ決シマス、次ハ第七條

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

御異議ガナクバ委員會ノ修正ニ決シマス

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

次ハ第八條ヨリ第二十二條マデ原案ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

次ハ二十三條……委員會ノ修正ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

次ハ二十四條

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

委員會ノ修正ニ御異議ガナクバ其通ニ決シマス、次ハ二十五條、二十六條、是ハ委員會ノ修正デハ削除ニナツテ居リマス、是ハ原案ニ就イテ決ヲ採リマス、原案ニ御同意ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス

起立者 ナシ

○議長(公爵近衛篤磨君) 起立者ガアリマセヌカラ削除ニナリマシタ、次ハ第二十七條即チ修正ノ第二十五條デス……委員會ノ修正ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

次ハ二十六條、原案ノ二十八條ヨリ終リマデ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

此異議ガナクバ原案ニ決シマス

○子爵京極高典君 直ニ三讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス

〔賛成〕ト呼フ者數名アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 直ニ三讀會ニ移ツテ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ三讀會ヲ開キマス……御異議ガナクバ原案ニ決シマス

衆議院 (明治三十四年三月二十二日 程 變 更)

○恆松隆慶君(百三十六番) 議長

○議長(片岡健吉君) 恆松君、何デスカ

○恆松隆慶君(百三十六番) チヨット私ハ此場合デ、緊急動議ヲ提出致シマスガ、發言ヲ御許シテ願ヒマス、日程ノ變更デゴザイマス

○議長(片岡健吉君) ドウ云フ日程ノ變更デスカ

○恆松隆慶君(百三十六番) 漁業法案ガ貴族院カラコッチニ回付ニナリマシタカラ、之ヲ議題トシテ議シタイ、此漁業法ヲ除クノ二法案ハ、唯委員ダケヲ此場合選ムノデアリマスカラドウゾ諸君ニモ日程ヲ變更サレンコトヲ望ミマス

〔賛成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 恆松君ニ御尋シマスガ、漁業法案ト畜牛結核病豫防法案ト、サウシテ司法官試補實地修習期間ニ關スル法律案、斯ウ云フ順序ニナリマスガ

○恆松隆慶君(百三十六番) サウデス

○議長(片岡健吉君) 日程ノ變更ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ノ聲起ル

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ日程ヲ變更シマス

漁業法案(政府提出貴族院回付)

確定議

○恆松隆慶君(百三十六番) 此漁業法案ニ附イテ、第一意見ヲ述ベマスガ、是ハ多年本院ノ宿題ニ爲ッテ居ッタ案デゴザイマスガ、本期ノ議會ニ於キマシテ、衆議院ニ於テハ政府案ヲ大ニ修正ヲ致シテ、貴族院ニ回シタノデアリマス、然ルニ貴族院ニ於キマシテハ、本院ノ修正ノ大體ヲ賛成シテ、玆ニ字句ノ修正ガシテ、回付ニナッタノデゴザイマス、第七條「抵當」ト云フ文字ヲ削除シ、第二十三條第二十四條第二十五條——ソレハ今度改マリマシタ、ソレハ二十五條ハ今度別ニ改マリマシタガ、ソコニ「違法」ト云フ文字ガ這入ッタノデアリマス、ソレカラ二十五條、二十六條ガ削除ト云フコトデ、是ハ行政裁判ヲ司法裁判ニ移スト云フコト、此修正ハ如何ニモ萬々已ムヲ得ナイコト

ト思ヒマスカラ、貴族院ノ修正ニ同意ニテ、此案ヲ確定セラレンコトヲ希望致シマス

〔賛成々々〕ト呼フ者アリ

○花井卓藏君(百七十九番) 恆松君ノ御意見ガ出マシタガ、私ハ恆松君等ノ御宿志ヲ貫徹スルタメニ、一言致シテ置タイ、本案ノ貴族院ノ修正ハ、字句修正デハナイ吾々が大ニ争ッタ漁業權ヲ抵當ノ目的トセナイト云フコトニ直シテ、諸君ノ御意向ニ反シテ、貴族院ハ修正シタ、是ハ字句ノ修正デハナイ、ソレデアリマスカラ、私ハ貴族院ノ案ヲ迎ヘルノデアリマスガ、大多數ヲ以テ決定セラレタル、衆議院ノ院議ヲ重ズルト云フ趣意ニ依ッテ、私ノ意見通ナッタノデゴザイマスケレドモ、私ハ涙ヲ吞ンデ、貴族院ノ修正ニ反對シマス

○門馬尙經君(百八十四番) 恆松君ノ發言通、諸君ガ同意ナサルコトヲ希望致シマス

〔賛成々々〕ト呼フ者アリ花井卓藏君「院議ヲ重ズベシ」ト呼フ

○議長(片岡健吉君) 恆松隆慶君ノ御説ガ出マシタガ、貴族院修正通ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(片岡健吉君) 多數——貴族院ノ修正ニ同意スルコトニ決シマス



漁業法通解終

明治三十四年十月卅一日印刷  
明治三十四年十一月四日發行

(定價五拾錢)

著者兼  
發行者

中島行

東京市麻布區山元町五十七番地

印刷者

山口竹二郎

東京市京橋區宗十郎町十五番地

複製

印刷所

合資東京國文社

東京市京橋區宗十郎町十五番地

發行所

東京市芝區芝口  
一ノ三丸星館

水產同志會

漁業法通解 終

明治三十四年十月卅一日印刷  
明治三十四年十一月四日發行

(定價五拾錢)

著作者兼  
發行者

中 島 行 一

東京市麻布區山元町五十七番地

印刷者

山 口 竹 二 郎

東京市京橋區宗十郎町十五番地

印刷所

合資 東 京 國 文 社

東京市京橋區宗十郎町十五番地



不 許  
複 製

發行所

東京市芝區芝口  
一ノ三 彗星館

水 產 同 志 會

# 廣告

徑谷政鶴君著述

## 漁業法論

定價金壹圓  
郵稅四錢

著者は現に富山縣技師富山縣水産講習所長として尤も水産の事情に精通し兼ねて法律の學殖深し今法律志想の最も少なき水産關係者に漁業法の法理を會得せしめんとし此著あり漁業法通解と併せ讀まば長短補足して其利益少なからざる可し乞ふ一本を座右に備へて斯法研究の師友となさば幸甚なり

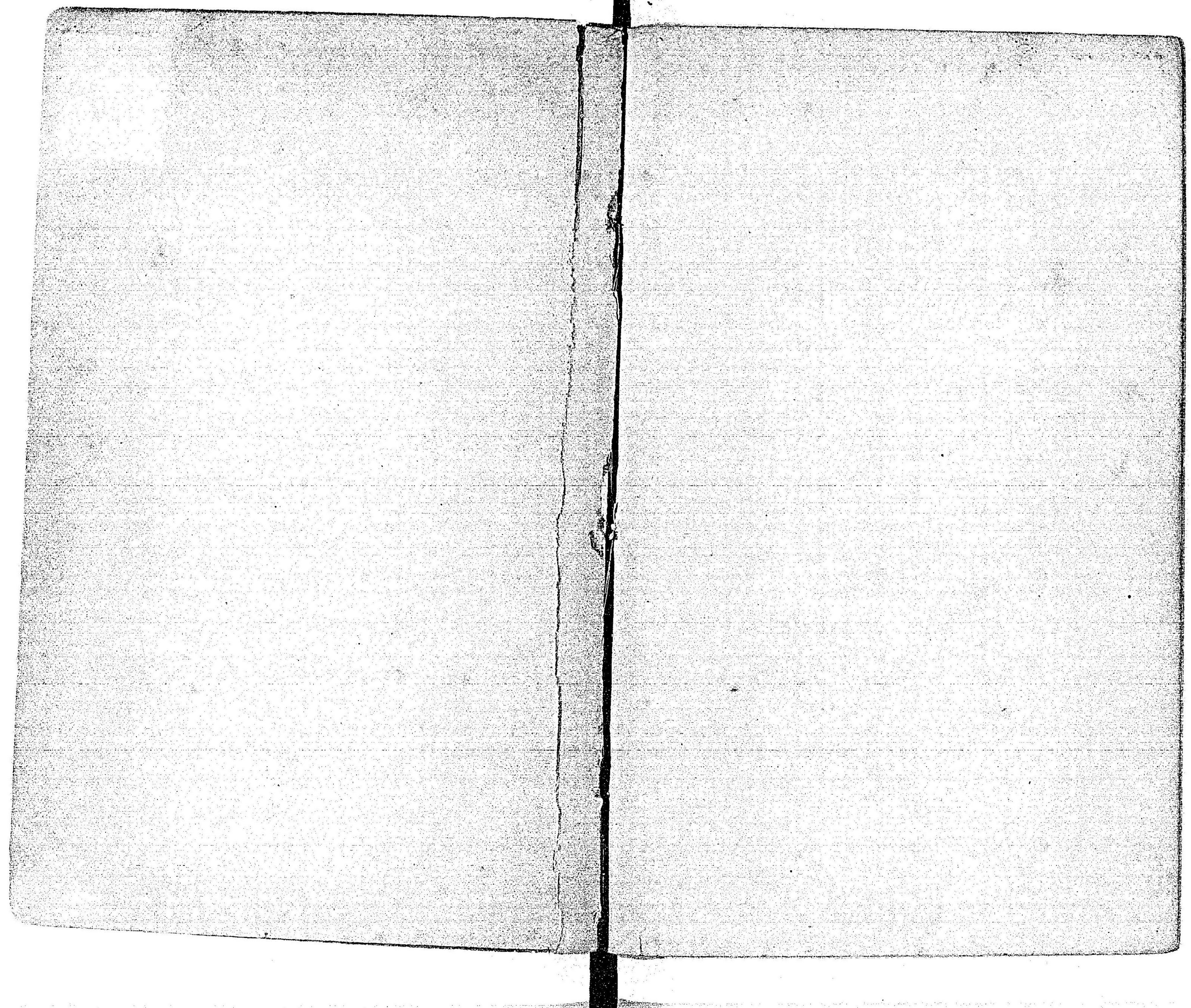
### 發賣所

東京市日本橋區  
通二丁目十三番地

嵩山堂 小林新兵衛

右購讀者は代金相添へ本會へ申込めらは遞送の勞を採るべし

## 水産同志會



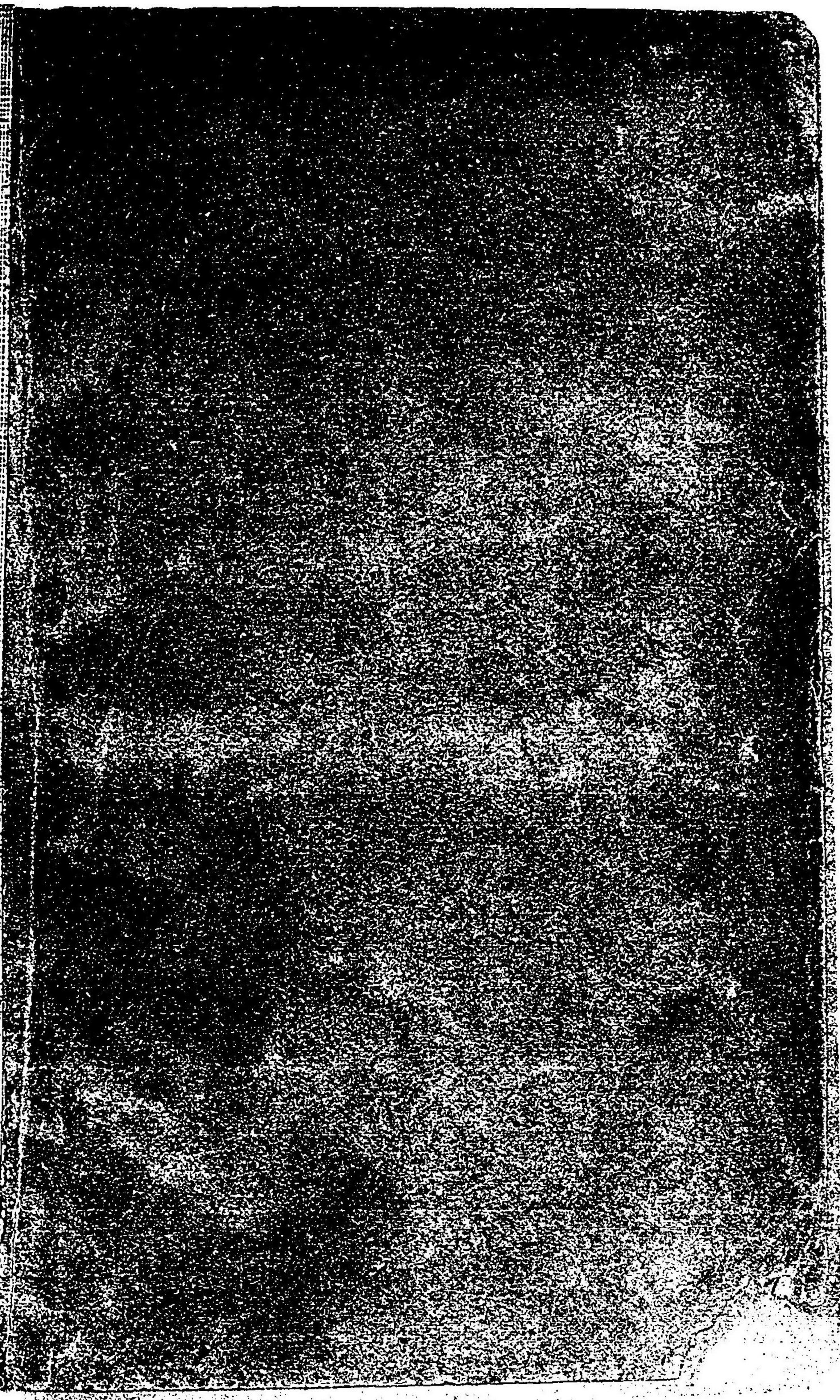
318  
8

318  
8

[Blank label]

318

8



318

8

